

雄武町国民健康保険病院
経営強化プラン
実施状況点検・評価報告書

令和8年3月

目次

1	はじめに.....	1
2	令和6年度雄武町国民健康保険病院事業決算状況.....	2
	(1) 総括事項.....	2
	(2) 収益的収支.....	3
	(3) 資本的収支.....	4
3	経営の効率化等の指標・目標値.....	5
	(1) 収支改善・収支確保に係るもの.....	5
	(2) 経費削減に係るもの.....	6
	(3) 経営の安定性に係るもの.....	6
4	医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標.....	7
	(1) 医療機能に係るもの.....	7
	(2) 医療の質に係るもの.....	8
	(3) 連携強化等に係るもの.....	8
	(4) その他.....	9
5	点検評価の総括.....	10

1 はじめに

雄武町国民健康保険病院は、地域住民の健康保持に必要な医療を提供することを理念とし、『適格な診療、治療、ケアの提供』、『快適な療養環境の提供』、『他医療環境との相互分担と連携機能強化』、『救急医療への対応』、『保健、医療、福祉の包括体制の中核病院』を基本理念としています。

公立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たすことが求められていますが、医師、看護師等の不足、人口減少や少子高齢化の急速な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の急激な変化等を背景とする厳しい環境が続いています。

総務省は、令和4年3月に公表した「公立病院経営強化ガイドライン」において、「持続可能な地域医療提供体制を確保するため、公立病院の経営強化が重要である」とし、全国の自治体に対して、「公立病院経営強化プランを策定し、病院事業の経営強化に総合的に取り組むこと」を求めています。

経営強化プランに記載する主な内容は以下の6項目です。

- ・ (公立病院の) 役割・機能の最適化と連携の強化
- ・ 医師・看護師等の確保と働き方改革
- ・ 経営形態の見直し
- ・ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- ・ 施設・設備の最適化
- ・ 経営の効率化等

上記項目に則り、雄武町国民健康保険病院は、令和5年度に、計画期間を令和6年度から令和9年度までの4年間とした「雄武町国民健康保険病院経営強化プラン」を作成し、経営改革に取り組んでまいりました。その達成状況、活動状況について点検評価を実施しましたので、ここにその結果を報告します。

2 令和6年度雄武町国民健康保険病院事業決算状況

(1) 総括事項

令和6年度の病院事業は、年度途中で常勤医師が1名の体制になったものの、北海道地域医療振興財団からの紹介医師、札幌医科大学及び旭川医科大学の宿日直支援のほか、旭川医科大学からは小児科及び耳鼻咽喉科外来の診療支援を受け、本町の公的な医療機関として、安心かつ安定的な地域医療の確保に努めるとともに、医療サービスの提供を行ってきたところであります。

地域医療を取り巻く環境は、依然として多くの課題が山積している状況にあり、少子高齢化に起因する人口減少に伴い、医師や看護師などの医療従事者の確保は、ますます困難な状況となっておりますが、今後も取組みを継続するとともに、適切な診療体制の維持・確保に努める必要があります。

なお、収益的収支については、収入では常勤医師の減少に伴い診療体制が大きく変わったことで、入院・外来収益が減少しており、支出では病院設備の経年劣化に伴う修繕費の増、人件費も医師等に欠員が生じたことで給与費全体では減少しているものの、給与改定等に伴い医師以外の給与及び全職種の手当は増加しております。このことから、決算において当年度純損失が生じたため、繰越欠損金として計上するに至りました。

(2) 収益的収支

収入は、医業収益が入院・外来収益等で250,833千円（一般会計負担金49,929千円を含む）、前年度比5.9%の減、医業外収益が他会計負担金・他会計補助金等を加えて444,427千円、前年度比1.3%の減、収入合計は695,260千円で、前年度比3.0%の減となりました。医業収益は経営強化プランにおける計画値を11,641千円下回ったものの、他会計負担金・他会計補助金等を加えた医業外収益の増加により、経常収益は経営強化プランにおける計画値を45,204千円上回りました。

支出は、医業費用が給与費・材料費等で702,391千円、前年度比0.6%の減、医業外費用が、企業債償還利息等の計上により7,033千円、前年度比2.6%の減、支出合計は709,424千円で、前年度比0.6%の減となりました。人員欠員の影響で給与費や研究研修費が経営強化プランにおける目標値を上回り、また経費についても委託費の見直し等で経営強化プランにおける目標値を上回ったことで、経常費用は経営強化プランにおける計画値を55,173千円上回りました。

このことから、経常損失として14,164千円を計上しましたが、経営強化プランにおける計画値を100,377千円上回るに至りました。

【収益的収支】

項目	実績		計画	差異 (実績-計画)
	令和5年度	令和6年度	令和6年度	
1. 医業収益	266,679	250,833	262,473	-11,641
(1) 入院収益	83,329	70,186	90,393	-20,207
(2) 外来収益	108,561	102,343	110,622	-8,279
(3) その他医業収益	74,789	78,304	61,458	16,845
(うち一般会計繰入金)	47,189	49,929	27,134	22,795
2. 医業費用	706,600	702,391	756,181	-53,791
(1) 給与費	392,715	388,563	398,505	-9,942
(2) 材料費 (給食材料費除く)	37,222	36,832	43,981	-7,149
(3) 給食材料費	197	167	300	-133
(4) 経費	177,894	163,478	200,694	-37,216
(5) 減価償却費	59,821	67,642	67,238	404
(6) 資産減耗費	3,065	3,159	3,895	-737
(7) 研究研修費	35,685	22,765	41,568	-18,803
3. 医業損益	-439,920	-451,558	-493,708	42,150
4. 医業外収益	450,221	444,427	387,582	56,845
5. 医業外費用	7,223	7,033	8,416	-1,382
6. 経常収益	716,900	695,260	650,056	45,204
7. 経常費用	713,823	709,424	764,597	-55,173
8. 経常損益	3,077	-14,164	-114,541	100,377
9. 医業収支比率	37.7%	35.7%	34.7%	1.0%
10. 修正医業収支比率	31.1%	28.6%	31.1%	-2.5%
11. 経常収支比率	100.4%	98.0%	85.0%	13.0%

(3) 資本的収支

収入は、一般会計出資金及び企業債等で 112,672 千円、前年度比 24.1%の減となり、経営強化プランにおける計画値を 13,222 千円下回りました。

支出は、建設改良費において、有形固定資産購入費で 71,467 千円、ファイナンスリース債務返済費で 1,294 千円、工事請負費の執行はなく、これに企業債元金償還金 70,248 千円を加えた合計は 143,009 千円となり、経営強化プランにおける計画値を 687 千円下回りました。

このことから、資本的収支として-30,337 千円を計上し、経営強化プランにおける計画値を 12,535 千円下回るに至りました。

他会計負担金、補助金、一般会計出資金の合計は 439,000 千円と、経営強化プランにおける計画値を 69,000 千円下回り、雄武町財政負担分は 291,029 千円と、経営強化プランにおける計画値を 73,260 千円下回るに至りました。

【資本的収支】

項目	実績		計画	差異 (実績-計画)
	令和5年度	令和6年度	令和6年度	
1. 資本的収入	148,545	112,672	125,894	-13,222
(1) 企業債	65,300	60,300	67,700	-7,400
(2) 一般会計出資金	36,469	41,647	41,647	0
(3) 他会計補助金	0	0	12,422	-12,422
(4) 一般会計	0	0	0	0
(5) 補助金	46,776	10,725	4,125	6,600
2. 資本的支出	143,822	143,009	143,696	-687
(1) 建設改良費	83,232	72,761	73,009	-248
(2) 企業債償還金	60,590	70,248	70,687	-439
3. 資本的収支	4,723	-30,337	-17,802	-12,535
4. 他会計負担金、補助金、一般会計出資金計	448,000	439,000	370,000	69,000
(1) 普通交付税・特別交付税	156,257	147,971	152,231	-4,260
(2) 雄武町財政負担分	248,832	291,029	217,769	73,260

※一般会計繰入金のうち、雄武町負担分は、一般会計繰入金から交付税措置を除外した金額。

3 経営の効率化等の指標・目標値

(1) 収支改善・収支確保に係るもの

経常収支比率は 98.0%となり、経営強化プランにおける目標値を上回りましたが、常勤医師等欠員の影響により医業収支比率及び修正医業収支比率は前年を下回る水準であり、修正医業収支比率については経営強化プランにおける計画値を下回りました。この結果、一般会計繰入金における雄武町実質負担分は 245,207 千円と、経営強化プランにおける目標値を 41,941 千円下回るに至りました。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①経常収支比率	%	100.4	98.0	85.0	13.0
②医業収支比率	%	37.7	35.7	34.7	1.0
③修正医業収支比率	%	31.1	28.6	31.1	-2.5
④1日平均入院患者数	人	8.7	7.5	8.9	-1.4
⑤1日平均外来患者数	人	60.3	58.3	60.4	-2.1
⑥患者1人1日平均入院診療収入	円	24,957	24,913	25,345	-432
⑦患者1人1日平均外来診療収入	円	7,709	7,587	7,537	50
⑧病床稼働率	%	34.8	30.0	35.6	-5.6
⑨平均在院日数(日)	日	16.3	17.9	15.6	2.3
⑩一般会計繰入金	千円	448,000	439,000	370,000	69,000
⑪(うち雄武町負担分)	千円	291,743	291,029	217,769	73,260
⑫(うち雄武町実質負担分)	千円	248,832	245,207	203,266	41,941

※一般会計繰入金のうち、雄武町負担分は、一般会計繰入金から交付税措置を除外した金額。

※一般会計繰入金のうち、雄武町の実質負担分は、雄武町負担分から企業債元利償還に係る繰入金を除外した金額。

(2) 経費削減に係るもの

医師等に欠員が生じたことで職員給与費全体では減少しているものの、給与改定等に伴い医師給以外の給料及び全職種の手当は増加しており、入院・外来収益等の減少の影響で、職員給与費対修正医業収益比率は193.4%となり、経営強化プランにおける計画値を24.1%下回りました。薬品費対修正医業収益比率は10.9%と、病院全体で後発医薬品の導入を推進してきたものの、修正医業収益の減少の影響で経営強化プランにおける計画値を1.1%下回りました。一方、診療材料費や委託費については、複数の業者から相見積を徴収するなど、コスト節減に努めてきた結果、いずれも経営強化プランにおける計画値を上回るに至りました。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①職員給与費対修正医業収益比率	%	178.9	193.4	169.3	24.1
②薬品費対修正医業収益比率	%	8.0	10.9	9.8	1.1
③診療材料費対修正医業収益比率	%	7.4	7.4	8.9	-1.5
④委託費対修正医業収益比率	%	35.6	37.7	38.1	-0.4

(3) 経営の安定性に係るもの

医業収益の減少等の影響で、現金保有残高は36,851千円と減少しましたが、経営強化プランにおける計画値は4,851千円上回りました。また企業債残高は元金償還を進めた結果、569,528千円となり、経営強化プランにおける計画値を6,961千円上回りました。

人員体制については、常勤医師が2名から1名に減少、その他の人員にも欠員が生じたことで、医業収益は減少しておりますが、北海道地域医療振興財団からの紹介医師、札幌医科大学及び旭川医科大学の宿日直支援・診療支援を受け、医療サービスの提供を行ってきました。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①現金保有残高	千円	50,893	36,851	32,000	4,851
②企業債残高	千円	579,476	569,528	576,489	-6,961
③常勤医師数	人	2	1	2	-1
④看護師数	人	21	25	21	4
⑤薬剤師数	人	1	1	1	0
⑥放射線技師数	人	2	2	2	0
⑦臨床検査技師数	人	1	2	2	0

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
⑧理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数	人	1	1	1	0
⑨臨床工学技士	人	2	2	2	0
⑩栄養士数	人	1	1	1	0
⑪医療ソーシャルワーカー数	人	0	0	0	0
⑫事務職員数	人	8	8	8	0

※職員数は各年度期首時点で、正規職員と会計年度任用職員を含む。

ただし、常勤医師数のみ各年度期末時点。

4 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

(1) 医療機能に係るもの

医師等に欠員が生じたことで、救急患者数、救急車応需件数は、前年度を下回ったものの、救急患者数については610件となり、経営強化プランにおける計画値を110件上回るに至りました。また、救急車応需率は、前年度に引き続き100%を維持し、経営強化プランにおける計画値を達成しております。今後も地域に必要な救急医療を安定して提供するため、人員体制の確保や設備・機器の整備を推進してまいります。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①救急患者数	件	641	610	500	110
②救急車応需件数	件	156	135	-	-
③救急車応需率	%	100	100	100	0

※②救急車応需件数は令和6年度から指標として追加。令和7年度以降目標値を検討して進捗管理する。

(2) 医療の質に係るもの

在宅復帰率については66.9%と、前年度実績及び経営強化プランにおける計画値を下回りましたが、今後は在宅復帰を見据えた退院調整やリハビリテーションを更に充実してまいります。その他の指標についても継続的に実績を注視し、医療の質の向上に努めてまいります。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①在宅復帰率	%	69.9	66.9	72.5	-5.6
②インシデント・アクシデント発生件数	件	7	19	-	-
③転倒・転落発生件数	件	3	4	-	-
④褥瘡発生率	%	5	0	-	-

(3) 連携強化等に係るもの

令和6年度から集計を開始した紹介件数は246件となっており、令和7年度以降は目標値を設定して進捗管理を行います。逆紹介件数については122件と、前年度実績を上回っており、経営強化プランにおける計画値を14件上回るに至っております。今後も紹介・逆紹介の実績を定期的に分析し、関係機関との連携強化に努めてまいります。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①紹介件数	件	-	246	-	-
②逆紹介件数	件	96	122	108	14

※紹介件数は、他の医療機関から診療情報提供書（紹介状）を持参して来院した初診患者数で、令和6年度から集計開始。令和7年度以降目標値を検討して進捗管理する。

※逆紹介件数は、退院患者のうち、他の医療機関・介護施設へ転院（通所含む）、入所した件数

(4) その他

患者数減少の影響で、健診受診件数及び予防接種受入数は前年度実績及び経営強化プランにおける計画値を下回りました。離職率については前年度実績を下回る水準であったものの、有給休暇取得率、職員年間平均超過勤務時間は共に前年度実績を上回り、経営強化プランにおける計画値を上回るに至りました。また、職員健康診断受診率は前年度に引き続き 100%を達成しております。今後も引き続き予防医療の周知・受診促進策を強化するとともに、有給取得促進や長時間勤務是正など働きやすい職場環境整備に引き続き取り組み、町民の健康管理向上に努めます。

指標	単位	実績		計画	差異 (実績-計画)
		令和5年度	令和6年度	令和6年度	
①健診受診件数	件	867	766	870	-140
②予防接種受入数	件	903	729	900	-171
③離職率	%	3	11	3	8
④有給休暇取得率	%	38	52	40	12
⑤職員年間平均超過勤務時間	時間	20	15.8	20	-4.2
⑥職員健康診断受診率	%	100	100	100	0

※離職率、職員年間平均超過勤務時間は、正職員（会計年度任用職員、契約職員を除く）のみ。

5 点検評価の総括

「雄武町国民健康保険病院経営強化プラン」については、作成段階から病院長をトップとする経営幹部会議において協議し、経営強化プランに掲げる各種目標を達成するための体制を整備しました。今年度は、経営強化プランで目標としていた地域包括ケア病棟への病床転換の準備、診療報酬の更なる向上に向けて、職員一丸となって経営改革に取り組んできました。医師等の欠員による影響で医業収益は減少したものの、経常損益は-14,164千円と、経営強化プランにおける計画値を100,377千円上回るに至りました。

今後とも、町内唯一の公立病院として、必要な救急受入体制を確保し、地域の方々の生命線としての役割を担ってまいります。また、来たる高齢社会に向けて、地域包括ケア体制の中核を担い、町内の地域包括支援センター、介護施設と連携して、在宅医療や介護療養への貢献を果たしてまいります。また、住民の「健康の守り手」としての基本的役割を果たすべく、西紋地域における連携協議や遠紋医療圏域における地域医療構想会議、学識経験者で組織する国保病院運営委員会での議論等を踏まえながら、病院機能の方向性の確立に向けた検討を進めてまいります。